

## 試験研究(事前)評価整理表

試験研究機関名 衛生研究所  
 所 管 課 薬務課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	試験研究始期・終期		予算額 当初全体予 算額(千円)	具体的評価項目				総合評価		部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類		始期	終期		研究二 ズ把握手 法	研究計画 の妥当性	研究目的 の妥当性	施策目標 との関連 性	1次評価	2次評価		
1	3-Ⅱ-(4)日常生活の安全と安心	食中毒対策	市場に流通する魚介類のアニサキス寄生状況調査	R4	R6	1,590	A	A	A	A	A	A	<p>アニサキスを原因とする食中毒は全国で発生している食中毒の3割から4割を占めており、最も発生件数の多い食中毒である。アニサキスによる食中毒は、寄生している魚介類の生食が原因であるため、県内に流通する魚介類のアニサキス寄生状況を把握することは、県民の食の安全を守るために重要であり、広く食中毒行政に寄与できると考えられるため、本調査研究を実施する必要がある。</p>	<p>アニサキス症は食中毒としての届出が増加したもののまだ届出の割合が小さいと考えられている。また魚への寄生が環境にも依存する一方で、様々な対策も講じられていることから、流通する魚介類の可食部での寄生状況を把握し、対策の向上につなげることが重要となる。この調査研究では食中毒事例において魚介類の種類と虫体の同定結果の関連を調べることにしているが、臨床医の協力も得て臨床像との関連に関して知見を得ると臨床医学にも貢献できるのではないかと考えられる。</p>

試験研究(事前)評価整理表

試験研究機関名 ハイテクプラザ  
所 管 課 産業振興課

No.	施策目標等		試験・研究課題名	試験研究始期・終期		予算額 当初全体予 算額(千円)	具体的評価項目				総合評価		部局コメント	外部アドバイザーコメント
	施策目標	研究課題分類		始期	終期		研究二 次把握手 法	研究計画 の妥当性	研究目的 の妥当性	施策目標 との関連 性	1次評価	2次評価		
1	県内企業の経営基 盤、競争力・収益力の 強化	(仮)ふくしま繊維関 連技術開発促進事業	繊維物の物性 評価データ ベースと予測 システムの構 築	4	6	2,370	A	A	A	A	A	A	県内企業が市場ニーズに即した新製品を開発するために大きな武器となる技術を提供できる。そのため、積極的に実施すべきである。	開発コストと期間を圧縮して競争力を高める効果が期待できる。研究内容と比べて予算が低額である気がする。予算の制約でデータベースが不完全／不十分とならないよう、配慮を願いたい。 企業側にシミュレーションを使いこなせる技術力が必要となるため、企業側の人材育成も併せて取り組む必要があると感じる。
2	再生可能エネルギー の研究拠点・関連産 業の集積・育成	福島新エネ社会構想 等推進技術開発事業 産総研連携強化型技 術開発事業	風力発電ブレード部材の迅速耐久 性評価と予知 保全技術の開 発	4	6	90,000	A	A	A	A	A	A	ブレードの劣化メカニズムを解明することで短期間での耐久性評価が可能となることから、風力発電の安全性確保とコスト削減が可能となる。積極的に実施すべきである。	再エネ導入を進め、風力発電を多数有する本県にとって、極めて重要なテーマである。メンテナンスビジネスは全国に展開できるため、先導する企業が県内で萌芽することを期待したい。 メンテナンスの難易度が増し、海水の影響も考えられる洋上風力についても知見が得られるよう、研究の幅を拡げて欲しい。
3	新産業集積と地域産 業の振興	ものづくり企業のAI・ IoT活用促進事業	通信障害に強い無線通信ネット ワークの製造 現場適用化研 究	4	6	12,153	A	A	A	A	A	A	県内企業のニーズがあり、研究成果は県内企業により事業化できる可能性が高い。また、県の重点施策に直接的に寄与できる。	ものづくりの高度化・省力化に貢献する、重要度の高い研究と思う。 技術の進歩も新製品登場も早い分野である。完成度がある程度以上の技術を事業所に導入しての実証研究であるのか、新規性の高い次世代技術の研究開発なのか、立ち位置を明確にして、スピード重視で取り組んで欲しい。